

癸卯年

明治四十二年五月十四日

書記官長

七部

主筆

書記官

書記官



樺太廳官制中改正ノ件審査報告

謹于今回御諮詢ノ樺太廳官制中改正ノ件ヲ審査

スルニ現行官制ニ於テハ樺太廳ニ長官官房及第

一部第三部ヲ置キ警察事務ハ第一節ノ所管ニ

福 啓 完

属ニテ其ノ一課ニ於テ之ヲ取扱フニ過キカルニ由來構

英、數點ニト雖モ

太ノ住民ノ内地ト異リテ嚴重ナル警察上ノ取締ヲ

要スルモノ多^{比較的}數ヲ占メ現制ノ儘ニテハ事務處理上ノ

不便甚シキヲ以テ新ニ第三部ヲ置キテ府縣警察部

ト同様警察衛生ノ事務ヲ分掌セシメ從テ警視

ヲ廢シテ新ニ第三部長タルハキ事務官一人ヲ加ヘ且

ツ警察事務ノ直接執行ニ當ラシムル為該部長

ヲ以テ警務部長ニ充テ其ノ支廳長以下ヲ指揮スル

權限ニ付テハ臺灣總督府ノ警察本署長ハ廳長

以下ヲ指揮スル權限ト同一トシ又第三部ヲ置クノ

結果ト從來ノ事務取扱上ノ経験ト依リ官房及各部

ノ分掌事務ノ多少ノ變更ヲ加ヘ郵便局官制改正ノ

結果トレテ郵便局所屬ノ技師一名ヲ本廳^轉ニ移入屬

セシムル爲技師ノ定員六名ヲ七名ニ改メ且ツ客年改正

刑罰ノ實施^ニ依リ刑名ノ變更ヲ来シタルト同時ニ爾來

各省大臣、地方長官、臺灣總督府廳長及關東都

督府民政署長^等八命各ニ附スルコトヲ得ヘキ罰則ニ關ス

ル權限ニ何レモ改正ヲ絶ヤレタルニ依リ樞密廳長官

ノ權限ニモ改正ヲ加ヘルトスルモノシテ支障ナシト認リ

而シテ長官、廳長ニ附スルコトヲ得ヘキ罰則ニ關シテハ

従前各省大臣と同種ノ權限ヲ有シタルモノニシテ實際上ニ
於テモ鑛業法、砂鑛採収法及森林法等ヲ權大ニ施
行スルニ際シテハ長官カ其ノ施行規則ヲ定ムルノ現狀
ナリ以テ本案ニ於テ各地方長官ヨリモ多少長官ノ權
限ヲ擴メ各省大臣ト地方長官トノ中間ニ位セシメ

タルカ如クモ亦已レテ得ザルニ出テタルノ措置ト認ム依テ
原案ノ通可決セリ然レトモ思料ス
右議ヲ審査ノ結果ヲ報告ス

年月日

書記官長

議長宛

明治四十二年五月十四日

書記官長

印

主筆

書記官



書記官

樺太廳職員特別任用令中改正件審査報告

謹テ御諮詢ノ樺太廳職員特別任用令中改正ノ

件ヲ審査スルニシテ今般樺太廳郵便局官制ヲ改正

シ従前ノ郵便電信局及其ノ支局所ヲ改メテ凡テ